

さつまいも収穫体験と花の苗づくり体験

開催レポート

開催概要

瑞穂町では高齢者福祉センター「寿楽」の改修工事を行います。改修後は子どもから高齢者までだれもが利用できる多世代交流施設へとリニューアルします。敷地内に農園をつくり、多世代が交流できる地域の居場所として整備します。今回は、将来的な施設の運用を検討するためのイベントとして、近隣の畑を借用して旬のさつまいもの収穫体験と、チューリップの球根の鉢植え体験を実施しました。ポットに作ったチューリップは、春先に高齢者施設に配ります。

日時 令和5年11月19日 午前10時～午前11時

対象 町内在住・在勤で小学生以下のお子さんと保護者

場所 フラワープラム(長岡長谷部 83-1)

参加人数 31名(9組)

講師 佐藤 雄介氏(西多摩ファームプロジェクト)

プログラム

概要説明

さつまいもほり

チューリップの
苗づくり

閉会



イベントの様子

講師の佐藤さんは、農業活動を通して高齢者や子どもたちがふれあい共にいきがい(楽しみ)を探求していく地域共生型プロジェクトを行っています。今回のイベントでも、「みんな(子どもたち)が掘り起こしたさつまいもをさらに美味しく食べるまでの準備を、高齢者の方々にもご協力してもらっています。それがご高齢の方のいきがいや活躍の場所にもなっています。」「また準備してくれたチューリップは、高齢者施設の軒先できれいに咲かせてもらうために、春先までに各施設にお届けして、施設の軒先やお庭に植えてもらっています。その植えてもらったお花を見にお散歩をすることで歩く機会が増え、より元気に過ごすことができます。」といった説明を聞きながら農作業を行いました。さつまいもほりでは、大きなさつまいもや、たくさんの根が連なったさつまいもを、子どもたちが夢中になって掘っていました。収穫したさつまいもは、各家庭に持ち帰り、どんな料理を作りたいか等、家族で話している様子が伺えました。1時間という短い時間ながらも、あっというまにたくさんのかご一杯のさつまいもが収穫でき、あわせてチューリップの球根を植えたポットもたくさんできました。畑という場所や、農作物を通して、地域の人が間接的に関わることができ、今後の施設運営の検討においても参考となるヒントがありました。



アンケートの感想※一部抜粋

- ・掘るのが大変だったが楽しかった。
- ・地域一体になっていて、良い取り組みだと思った。
- ・大人も子供も一緒に参加できてすごく楽しかった。
- ・とても良い体験になった。また参加してみたいと思う。
- ・さつまいも掘りが楽しかった。
- ・貴重な体験をさせていただいた。
- ・なかなかできない収穫体験ができてとても良かった。
- ・大人も子供もとても楽しめた。